

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名取委員委員 委員 称	茅野市博物館協議会専門部会		
開催日時	平成 25 年 7 月 23 日（火） 午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 研究室		
出席者	沖野部会長 北沢副部会長 小池委員 五味委員 田中委員 茅野委員 名取委員 濱委員 両角委員 小池生涯学習部長 鶴飼文化財課長 若宮八ヶ岳総合博物館長 大谷博物館係長 柳川博物館係主査		
欠席者	花里委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	1 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
沖野部会長	1 開会（博物館係長） 開会  2 特別展 見学  3 協議 今日、答申書案の素案を見ていただくのと、新しい展示のイメージについて皆さんがわかりづらいということで最初に特別展示を見ていただいた。展示を考えていく上で、特別展で使われているタブレットなどを随時、常設の方にも入れていくことを考えるということで、最初に特別展示を見ていただいた。どのように取り入れるかということについては、各、専門・部門で検討していただくということになるだろう。 まだ、答申書案はまだ未完成である。答申は 8 月の末には提出したいと思うので、それまでには、完成させたいと思う。 今日、お配りして見ていただいて、今日、気がついたところがあれば、ご指摘いただいても構わない。また、お持ち帰りいただいて、事務局の方へご連絡いただいても構わない。 答申書の完成は、私と北沢副部会長と事務局でみなさんの意見を反映させながらまとめていきたい。 前回、五味委員が発言したように基本構想がどこまでできていて、今後どうなるのかというあたりがわかるような資料を作成した。前回までの所で記載されていない部分を 10 頁以降に表を入れてある。基本構想に則って、これを実現完成させていくということが、本来の趣旨になる。  （答申書案説明）		
五味委員	私が感じているところをもう 1 回整理させてもらおうと、「総合博物館」という名称だが、「総合」とは何かということを考える。何でもやりますということになると、予算も要員も必要となる。内容的に希薄になる恐れがあ		

<p>沖野部会長 北沢副部会長 沖野部会長</p>	<p>る。それは避けたいと思う。市民に大いに使ってもらい、外からもぜひ来たいというものを作り上げたい。もし、「総合」というものを出していくとすると、パンチ力のないものになってしまうのではないかと。</p>
<p>田中委員</p>	<p>これを避ける場合には、一つには広域として考えていく提案をしていく必要があるのではないかと。ここで何でもできればいいが、それは無理だと思う。地域としては分散しながら分担し、全体としてカバーしている、このようにしていくべきだと思う。この館の場合、星や菌類など、総合博物館に特徴的なものにフォーカスしていくことが必要であるのではないかと。</p>
<p>北沢副部会長</p>	<p>もう一つは、小学校の生徒に対して、関心を持ってもらうことは、非常に意味のあることだと思う。小中学校のカリキュラムに、ここへ来る、もしくは出前で行くことを必ず織り込むというくらいのことできないかと。</p> <p>15 頁には「諏訪圏唯一の自然・科学を扱う博物館として、天文を含めた身近な自然観察や学習の拠点とする。」とあり、拠点博物館としての訴求点は、「自然科学・天文である」ということを謳っているのだから、訴求点を前面に出していただいたのかなという感じがしている。</p>
<p>田中委員 名取委員</p>	<p>唯一というのは、公立として唯一ということか。</p> <p>自然を扱うのは諏訪教育会の博物館もあるので唯一ではない。</p> <p>諏訪湖に関しては、諏訪湖博物館に若干ある程度だ。中心は八ヶ岳山麓の風土を元にしてということをお前提にしているのだから、これが特徴になると思う。答申では、特徴がわかりやすくなるようにしたい。</p>
<p>五味委員 北沢副部会長</p>	<p>この博物館にどのような物があり、どの学年のこういう学習については、ここにこういうものがあるというものを、学校に大々的に宣伝したということが、今までなかったように思う。</p> <p>先日、出前星空観察会について校長会で若宮博物館長が宣伝して、さっそく何件か私の所に問い合わせがあったので、そのようなことを伝えていくと、利用があるのかと考えられる。現在ある学年では、寒天工場へ見学に行くとか、縄文教育関連で尖石縄文考古館や上之段遺跡に行くなどあるが、総合博物館の資料を見に来るといのもいいと思う。博物館にあるもの、どんな学習ができるかという情報を出していくと、学校での利用はあると思う。</p> <p>宣伝することはすぐにでもできると思うが、将来的には、単元に入っているものを、総合博物館で準備していただく、また、体験学習を現在総合博物館で行っているが、これを、各学校に宣伝してもらおうと、参加する子供たちが増えると思う。</p> <p>年に1度は館長が校長会に出席し、校長会で顔を見せることは非常に重要なことだ。そして、総合博物館で校長会を年1回開催した方がよい。その時、展示などを見てもらい話をすると、校長たちの意識が変わると思う。</p> <p>今の意見は、校長会に伝える。</p> <p>八ヶ岳の大部分は茅野市で占めている。茅野市は歴史・産業・自然などが関わっている。ポイントは五味委員が言ったように「八ヶ岳」ということになる。</p> <p>訴求点と言うものが明確になればいいと思う。</p> <p>総合博物館を作るときに、関係者が気にしていたことだ。八ヶ岳という名前はなくさないようにしようということが共通認識だった。八ヶ岳全体</p>

	が博物館であるし、その中心に総合博物館を置いた。みんな同じレベルというわけにもいかないが、その中でも重点的なものを置くようにしながら、「総合」という意味をそのようにとらえて作った。八ヶ岳総合博物館は、特にこのようなことを重点的に行っているということの特徴づけていく必要がある。
濱委員	北沢副部長が校長会を総合博物館で開催したらどうかと言ったが、各学校に博物館係を作ったらどうかと思う。
北沢副部長	博物館係については、この間から議論していることである。現在、各学校の校長は他郡市の人がほとんどで、3年くらいで変わってってしまう。新しく来た校長にも意識を持ってもらうこと、答申にも書いてあるが、各学校に博物館担当の先生を作ってもらおうこと、そういう組織的なことを確実にやっていかなければならない。
濱委員	博物館担当が各学校に1名いれば、理科の授業でここが困っているとか、博物館でこういうことをやってもらえればありがたいとか、生の声が出てくると思う。
北沢副部長	それは非常に有効だと思う。具体的にしていくことは、次の段階で必要になってくる。
五味委員	スマホ・タブレットは非常にいいと思うが、小学生はスマホ持っていないと思う。貸し出しは難しいという話があったが、機材を数台置くということは難しいか。
大谷係長	今回は、試行というかたちであるような形になっている。小学生の利用は、保護者がついてくると思うので、保護者のものを借りて使うことを想定している。しかし、集団で来た場合の対応を今回していないので、その対応は今後考えていかなければならない。学校で、今後どのようにタブレットが導入されるのかという課題もある。
沖野部長	必要だという要望が出てくれば市の方もやりやすくなると思う。
北沢副部長	今後、デジタル機器の活用は、有効な手段として考えていかなければならない。ある学年の総合学習の中に博物館学習が定着していくと、半日なり博物館にいて、デジタル機器などを使用して過ごす。外国ではこのようなことをよくやっている。長野県は博物館学習が定着していないと思う。子供たちが自分の発想で自分の力で学習していく、そのような学習が茅野市で確立できればいいと思う。そういう中で、デジタル機器の導入はどうしても必要になってくると思う。
茅野委員	国立科学博物館で「グレートジャーニー」という企画展があって見に行ったが、その時は、イヤホンによる解説だった。それには、大人用と子供用の解説があった。そういうものがあれば、繰り返し使えるのではないか。
若宮博物館長	タブレットだと、音声も出せ、色々なレベルのソフトを入れれば、耳で聞くだけではなく、見ることもできるし、展示してある内容より深めた学習もできる。子ども用のソフトも、段階に合わせたソフトも作れる。
茅野委員	あまり複雑なものではなく、わかりやすいものの方が良い。
沖野部長	企画運営会議に学校の先生が入ってくると、そのような企画ができると思う。
若宮博物館長	最初の基本構想は良く考えられている。少し古くなっているところもあったが良いと思う。しかし、将来どれだけ構想に近付けるかというのには

沖野部会長	いろいろ難しい面もある。
小池委員	答申では難しいところもあるので、今後の博物館の運営体制として取り入れていったらどうかということを提案すればいいのではないか。
沖野部会長	茅野市内には、色々な分野の大学の先生などがたくさんいるようだ。このような人たちを活用する場を設けられないか。
沖野部会長 小池部長	ホームページを博物館で独自に持てれば、そのような人たちが、独自にアクセスしやすくなると思う。しかし、この間の話だと、博物館でホームページを独自に持てるかどうかはわからないということだったが、答申書に館独自のホームページを持つということ載せたい。
沖野部会長 茅野委員	茅野市で、人材バンクのようなリストはあるか。 公民館にあるかどうかだが、自然科学に限ってというものはないと思う。もし作るとすれば、博物館で独自に作った方が良い。
沖野部会長	軌道に乗ってくれば、博物館の人材バンクを作った方が良い。 20 頁の図だが、全体が並列になっているが、「学芸員調査研究室」というのは、博物館の使命から言っても重要だ。これにつながる市民研究員活動室ゼミ室」このあたりのことをしっかりと位置付けて、ここで研究されたことが残されるとか、展示をここで企画するとかになるだろうが、ここが中心になるんだということをわかりやすく表記した方が良い。
濱委員	現段階では羅列的なので、系統的な図にしたい。20 頁より前の部分は参考資料として、答申本体はまとめたものの方がいいかなと思う。なるべく、今までの意見を捨てないようにしていきたい。 博物館から、学校への情報提供をどうしていくかということも問題であろう。
田中委員	現在、若宮博物館長が泉野小学校で星座の出前事業を行っているが、他の学校から要望はないか。
北沢副部会長	今、宮川小学校から私の所に話が来ている。しかし、大きな学校なので、具体的な方法がまだ出てきていない
沖野部会長 若宮博物館長 北沢副部会長	これを広げていくには、博物館学習の良さ、意味するものを校長会や市教育委員会で意味付けしてもらい必要がある。 引率する先生に面白く思ってもらわなければならない。 まず、博物館側から先生方に何ができるかをお示ししないとイケない。 色々な先生方がいるので、茅野市はこうやるんだという姿勢を、学校へ教育員会から示す必要がある。それから、博物館で事例や、博物館のポイントを提供するという事になるろう。
沖野部会長	ただでさえ学校は忙しいので、その上に博物館学習が増えるという意識にならないようにしなければならない。 基本構想は良くできているが、それからの展開がいままで無かった。展開するのに建物が足りないということもあった。骨組みはできたので、これからの展開をどうするかだ。展開をどうするかを明確にし、いかに作っていくかということが、今度の答申の中味だと思う。 市民との協働はこの検討会で出てきたことだが、これは運営の仕方だ。ここで、市民全体の博物館という位置付けをし、そのような運営ができれば、多くの人に利用がされるだろう。

沖野部会長

その他、委員から特に質問、意見等はなく、議論を終結することで了承された。

### 3 その他

企画展に関連して、市民の人がこういうものを見たという情報を集めているということを広報できる場があればいいと思う。自然情報図というものをつくるようなことをすれば、情報として集まりやすいと思う。

人間の生活ということが、各部門の一つ加わると関心のある方はその基にあるものを見てみようということになる。

解説は子ども版があった方がいいと思う。

その他、委員から特に質問、意見等はなく、閉会 午後7時30分 終了～